

北海道議会議員

たけだ 浩光 道政通信

GO
Forward
北海道

住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!



◆◆ 感謝!そして、さらなる挑戦! ◆◆

初当選から早10か月。

後援会をはじめ私をお支え、ご指導いただいている全ての皆様に、心から感謝を申し上げます。

おかげさまで新人道議会議員として様々な経験をさせていただきました。

保健福祉委員会では災害時の病院課題、少子・高齢社会対策委員会では児童相談所課題。

そして、第2回定例会の予算特別委員会における保健福祉部と総務部への二時間以上に及ぶ質問や、さらには第3回定例会で医療課題を含めた一般質問で知事を追及してきました。

多くの道政課題が山積している現実と、前知事が残してきた負の遺産に時の痛ましさを痛感しました。

JR課題、IR課題、幌延課題、原発課題、防災課題や、さらには少子・高齢化課題、医療・福祉の充実に向けた課題など様々な分野での課題が待ち受けています。

今回は、昨年の北海道議会第3回定例会で初の一般質問に立った内容を中心に議員1年目における総括としての意味を含め報告したいと思います。

これからも様々な課題へ見識を深め、安全・安心な生活のできる西区・道民が納得できる道政となるようしっかりと調査・審議していくとともに、あらゆるチャンスにも果敢に挑戦してゆきたいと思ひます。

道議会議員

武田 浩光



お詫び

昨年12月に予定しておりました、たけだ浩光後援会主催の「望年会」が不本意ではございましたが、私の体調不良(イ〇〇ル〇〇ザ)により止む無く延期となりました。皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけし、心から心から深くお詫び申し上げます。現在、後援会の方で日程調整中と聞いております。今度こそ一皮剥け、グレードを上げた「たけだ」をお見せできると思ひます。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

◆◆ たけだ浩光の活動 ◆◆

北海道の問題を解決するために…色々なところを視察してきました

大樹町 / 種子島

～ 宇宙事業振興のため～



自動車やトラクターなどの自動運転には、GPSのための人工衛星が不可欠です。人工衛星を、安価でかつ確実に打ち上げるためのノウハウが日本にはあります。特に、北海道の大樹町は、民間のインターステラテクノロジズ社をはじめとして「宇宙のまちのロケット応援プロジェクト」を実施しています。

今、大樹町は、全国的に人口減少に悩む中で、町の人口減少を鈍化させ、むしろ世帯数は増やしています。まさに、北海道における地方創生の代表ともいえます。



山形県(日本海総合病院) / 静岡県(中東遠総合医療センター)

～ 地域医療連携推進法人制度の活用のために～

昨年、厚生労働省は全国424の公的病院を対象に「再編統合について特に議論が必要」と発表し、北海道においては54の病院が公表されました。

しかし、広域分散型の北海道において、地域の公的病院は非常に重要な役割があり、一律的に再編統合することは住民の命の問題にも直結します。

今回、先進的に統合により地域医療を確保している病院を視察してきました。再編統合の成功例としては感心させられたが、医師確保の苦労は、どこにおいても同様でした。



◆◆ たけだ浩光 たけだひろみつ ◆◆



昭和35年	江別市生まれ
昭和48年	札幌市立二十四軒小学校 卒業
昭和51年	札幌市立手稲東中学校 卒業
昭和54年	北海道立札幌西高等学校 卒業
昭和55年	北海道大学水産学部 中退
昭和60年	北海道大学医学部附属診療放射線技師学校 卒業
昭和60年	札幌医科大学附属病院放射線管理室 採用
平成27年～平成30年	札幌医科大学附属病院放射線部 副部長
平成12年	文部科学大臣賞(原子力・放射線安全管理功労表彰) 受賞
平成29年～現在	北海道科学技術大学 客員准教授
令和元年	北海道議会議員 初当選
【労働組合歴】	
平成23年～平成25年	自治労札幌医科大学労働組合 執行委員長

たけだ浩光政務事務所

〒063-0033
西区山の手3条1丁目3-1
林ビル 2階
TEL: 011-624-8030
FAX: 011-624-8031
E-mail: info@takeda-hiromitsu.com



北海道議会 第三回定例会

2019.9.10 ~ 2019.10.4

2020.02
No. 2

今回は、第二回定例会予算特別委員会での初質問に引き続き初の一般質問に立ち、医療課題をはじめ6項目にわたり質問しました。



札幌医科大学の 運営について

質問

＊第二期中期目標達成に向けて取り組んできた札幌医科大学の業務実績に関する評価結果について、知事の認識について伺う。

＊基礎研究が臨床研究ほど優遇されていない状況にあることから、第三期中期目標達成に向け、基礎研究に対する道としての支援策を伺う。

《知事》

評価結果では、全体として「達成状況が良好である」とされた。道としては、最優先課題である地域医療提供体制の確保、がん対策等の道民ニーズの高い研究を盛り込み、積極的な医師派遣や神経再生医療の実用化など着実に取り組んだと認識している。

《総務部長》

札幌大での基礎研究の成果は、本道の医学の発展に寄与し、患者や御家族への大きな希望と考える。第三期中期目標に掲げた基礎研究の取り組みを着実に実施できるよう、道として運営交付金などを通じて必要な支援に努めてまいります。

再質問（指摘）

講評の中で、看護師をはじめスタ

ッフ不足の話が出たと承知している。また、附属病院は道民医療のみならず医療人の育成や研究という別の側面もあり、最新医療機器の導入も含め、附属病院への支援をお願いする。

ヒグマの 生活圏侵入について

質問

＊前知事時代の大幅な人員・予算削減のありを受けた現状で、ヒグマ対策に係る必要な人員と予算の確保及び市町村、振興局間の広域対応ができていくのか伺う。

《環境生活部長》

電気柵の設置など有効な侵入防止策であり、国の支援制度も活用でき、道では協議会など通じ市町村に導入を働きかけている。また、広域対応としては協議会での情報共有や関係機関や関係者による協議場を設置するなど振興局間で連携して取り組む。

再質問

広域連携の対応のためには、ヒグマの生息状況を的確に把握する必要があり、道としては協議会など通じ市町村に導入を働きかけている。また、広域対応としては協議会での情報共有や関係機関や関係者による協議場を設置するなど振興局間で連携して取り組む。

についてなど含め、協定遵守を前提に精査してまいります。

再質問

認識が全く違う。協定に基づくなら、終了工程や埋め戻し議論が先決であり、延長期間も不明な申し入れでは、処分場化への疑念が払拭できないと考えるが知事の見解を伺う。

《知事》

道としては、将来とも最終処分場としないことなどを定めた3者協定の遵守を前提に、終了工程や埋め戻しを含め、確認会議を通じ精査してまいります。

再々質問

延長ありきでないと理解する。機構側の誠意なき提案に、道が毅然とした態度で当たるよう強く指摘する。
（注：知事は、4定予特において道民の声を無視し、十二月一日、計画延長の受け入れを表明した。）

泊発電所について

質問

＊泊発電所3号機の事故に係る再発防止策の策定を、延期している北電への道の対応を知事に伺う。

＊廃炉費用もかさみ、廃燃料の処分



地域防災計画 について

質問

＊自然災害の被害が多発するなか、北海道地域防災計画見直しの必要性及び災害拠点病院以外の病院におけるBCPの必要性の見解を伺う。

＊原子力防災対策における放射線教育や人材育成に対する知事の所見を伺う。

《総務部危機管理監》

これまで、改定を行ってきたが国の状況を踏まえ、北海道強化計画や、地域防災計画に反映してまいります。

また、医療機関のBCPは有効との認識から、情報提供など策定に必要な支援に取り組む。

原子力防災については放射線に係る研修や防災訓練を通じ人材育成に努めてきた。

関係機関と連携し、防災対策に不断に取り組む。

再質問（指摘）

原子力災害対策は、市町村間で放射線教育に対する温度差があり、その教育の浸透を担うのは道である。防災を担う人材育成に積極的に取り組むよう指摘する。



《知事》

ヒグマの生息数などできるだけ的確に把握し、広域的な対策を適切に講じるよう努める。

幌延深地層研究計 について

質問

＊令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）の申し入れは、協定の7条違反と考えるが、知事の所見を伺う。

《経済部長》

道としては、協定に基づき確認会議を開催し、終了工程や埋め戻しに

超高齢社会について

質問

今後の高齢社会を支える現役世代に対する支援の必要性、及び高齢者単独世帯の増加に対する住居支援施策の重要性について知事の所見を伺う。

《保健福祉部少子高齢化対策監》

道としては、保護者への研修体制確保や幼児教育の質の向上など支援施策に積極的に取り組む。また、住まいの確保については、公営住宅や入居可能な民間賃貸住宅の登録促進など重層的に取り組んでまいります。

以上が第三回定例会での一般質問の概要でございます。

『知事は北海道をどうしたいのか！北海道のために何をしたいのか！』

知事の顔は未だに見えてきません。今後とも私、たけだ浩光は、未熟ながらも道民の皆様、西区民の皆様に寄り添いながら、皆様の心に響くような活動をしていきたいと思っております。

